

人群れの夏のシャワー

作詞 岡本 悠／作曲 岡本 悠

俺の人生踏みにじる 何をどうしていいかもわからずに
他人（ひと）の感性かいまみる 人群れの夏のシャワー
明日（あす）の常識掻きむしる すばしっこくて速い蚊のように
一瞬で終わる歴史を 窓ガラスに打ち付けた

1、端正な街並みに 僕は呟く
揺れる想いを ただ、抱きしめた
消える交差点に 咲く花のように
声をからして 愛し合っていた

壊れそうなビルから 夢をもらって
心臓破りの坂 今も乗り越えてゆける

突然の嵐の中で 折り畳み傘はひっくり返り
黒い2匹のカラスが 人間達をあざ笑う
我は許すわけもいかず そいつらを容赦なく睨みつけて
暗闇に逃げ出すまでは 一歩も動かなかった

2、亡霊が出ると言う 館の傍の
寺と墓場を ずっと 見つめてた
タコの足の吸盤 しゃぶりながら
俺の膀胱は 膨らんでゆく

今年、一番の灼熱の太陽が
アイスを食べる僕の 汗を焚きつける

もう泣き虫とは言わせねえ だいぶ勝負も鍛えたから
誰の視線も怖くねえ 避けるのは強いからだ
男達との争いは 迷惑だからしないだけで
女だけを追いかける 今日もうインクをかます...

俺の人生踏みにじる wow wow wow
他人（ひと）の感性かいまみる wow wow wow

人群れの夏のシャワー！